

第2分科会 提言から学んだこと、提言者に伝えたいこと

小小連携など、交流の難しさをクリアして、お互いの学校がwin-winの関係になっている実践に共感を得ました。交通手段などの問題をクリアするためにオンラインでの交流の充実などが課題になるのかなと思いました。3年間という長い年月をかけての連携により、ゆるやかに成長していく子どもの実態に合わせていくことが大切だと思いました。

子供への支援の方法がよく分かった。

連携のあり方を学びました

早期からの連携の大切さを感じました。

お忙しい中、提案準備を進めていただき感謝しています。取組のパッケージをまとめてお伝えいただいたので、本校の取組との差異について見直すいい機会になりました。特に、小小連携には興味をもちました。

地区によって、それぞれの支援体制の中で、教頭としてコーディネートしていく力が必要だと改めて感じた。そのためには、日頃から関係機関との関係づくりをしておくことが大切だと感じました。

高山地区で課題になっていることや実践されていることがよくわかりました。ありがとうございました。

さまざまな連携勉強になりました。

校種間連携について具体的に学べた

連携の重要さと柔軟性

勉強になりました

様々な地区で取り組みがなされ、これからの子どもたちのためになりました。

連携の大切さ。他機関との連携の重要さ。

ありがとうございました

校種間の交流について、具体的な事例を学ぶことができました。

支援の仕組みを構築する事が大切

よくわかりました。

ありがとうございました。

学校単体ではなく、校区として、地域として協力してやっていくことの大切さを実感した。

どれだけネットワークを広げられかが教頭として必要な力だと感じました。

不登校対策の多様化

連携の大切さを改めて感じました。

町内の学校との縦横の連携の重要性を改めて感じました。

増えている個別対応が必要な子どもたちの教育も含め、インクルーシブ教育を推進していく必要を改めて感じました。そのため連携は必須だと思いました

情報共有の大切さを改めて感じました。幼保小の縦の連携と小学校同士の横の連携の両方が大切であると感じました。

連携の大切さ。そのコーディネートは教頭

キーワードは、連携・情報共有・コーディネート

確実に引き継ぐことや、必要情報の共有（双方向が大切）、連携をコーディネートする人が大切であると感じました。

素晴らしい発表でした。お疲れ様でした。

教頭として、つなぐことの大切さやつなぐ方法のアイデアをいただきました。ありがとうございました。

学校で抱え込まないための様々な取組を知ることができました。ありがとうございました。

かかえず組織連携が大切であると改めて実感しました。

他地域の状況が知れたこと、自分の気のつかないところでの取組など、大変参考になりました。ありがとうございました。

連携の大切さを改めて感じました。ありがとうございました。

提言者です。いただいた質問で、関係機関について整理できてないことがはっきりしました。帰って整理したいと思いました。

連携のための取組を知ることができました。

小学校間の連携を取り入れたいと思います。

本校や本市では実施していない内容もたくさんあり、大変参考になった。

ありがとうございました。

教育機関の連携の中に、特別支援学校も入れていただけるといいなと思いました。

校内だけでなく、校種間、関係機関との連携を一層大切にしていきたいです。

小小連携は初めてで面白い試みだと思ったし、自校でも必要なことだと思いました。多くの学校が人数や生徒数の格差で困っていることを知り、勉強になりました。この縁を生かしてまた、お話を伺いたいと感じました。発表の先生方、ありがとうございました。

センター的機能は、気軽に使いたいと思いました。

特別支援児童と保護者対応の授業参観と懇談会の早期開催は、とても参考になった。本町でもできそうだと感じた。

スムーズな連携、そこに緻密さと持続可能な取組でないといけないことがわかった。

連携をより良いものにするために、教頭はフットワークと見渡す目が必要と実感しました

連携の大切さを学びました。

小ー小の横の連携は、あまり意識していなかったので、参考になりました。

連携における教頭の役割をさらに学ぶ事ができた。

校種間交流を進めていくにあたり、自校や相手先学校の児童生徒の実態やニーズに応じて組織をつくる必要がある

関係諸機関との連携について、いろいろ情報を集めて、子どもたちのために活用していきたいと思いました。

個別支援の在り方について、特別支援的な連携の面でのこうしゅ間の連携の大切さを感じました。

本校でも校種間連携の方法を悩んでいたの、たいへん参考になりました。ありがとうございました。

幼保小連携において、年少から連携を図って見えてところが素敵だと感じました。

早くからより多くの機会の連携を行うことが大切だと学びました。

改めて複数回、継続的に連携事業を推進することや、連携を充実させることの大切さを学びました。ありがとうございました。

具体的な提案から、あらためて違う校種について知ることは大切だと感じました。

いろいろな連携の大切さ、特に小学校同士の連携について、勉強になりました。

やはり連携を大切にしたいと思います。そのためにも教頭として、学校の窓口であり要として動いていきたいと思います。

小小連携の有効性がよく分かりました。

子ども園、小中の連携の重要性を再確認しました。また連携のための教頭の役割はさらに重要であると感じた。

各連携については、学校だけで動くのには限度があると感じました。各市町の教育委員会とも相談しながら体制を整えたり、その体制を理解して活用できるようにしていきたいと感じた。

コロナ禍明けから、なかなかこうした取り組みができないので、今後の参考にしたい。

焼酎の連携が大変勉強になりました。ありがとうございました。

組織的に連携が行われている実践から学び、自校や地域でも参考に、できることから取り組みたい。

一人一人を大切に。つながりのある教育の大切さを痛感しました。幼稚園保育園、小学校、中学校、高校、縦のつながり、横のつながりを大切にしていきたいです。

関係機関を活用して学校だけが抱え込まないことが大切であることがわかった。小中だけでなく、幼保や小学校同士の連携も今後本校でも考えていきたい。

どこの地域でも交流の必要性を感じ、取り組んでいます。

その中で、自校では行っていないことを教えていただき、勉強になりました。

様々なネットワークを活用して、子どもたちのために取り組んでみえること、とても参考になりました。

年少時から園と関わり様子を見ていく事の意義や、各校との連携のあり方を具体的に知ることができ、ありがたい時間でした。

教頭がコーディネーターとして積極的に他学校や関係機関などと連携することが必要だと改めて実感しました。

全市で課題を共有し、教頭としてできることを対策として提言してもらい、参考になりました。教頭業務は多忙になるけれど、リーダーシップを発揮しなければ課題解決にはならないと思います。やるしかないですね。

園小連携や小中連携は本校でも実施しており内容も近いが、小学校間の交流において参考にしていきたい。

特に小学校同士の連携はほんこうでは取り組んでいなかった。本校でもオンラインなどの取組ができると感じた。

学校種等ごとの連携の工夫を、中学ブロックごとに交流できる教頭研修会の仕組みは大変参考になりました。

学校種間の連携の方法を自校の取組と比較しながら聞かせていただきました。主任層同士の連携に取り組みたいと思いました。

これから本校で、取り組んでみたいことができました。

幼保小中の連携について参考になった

担任や学校が抱え込むことなく、無理のない持続可能な支援ができるように視野を広げたいと思いました。

学校の連携について、多様な形があることが分かり、参考になりました。スライドもとてもわかりやすくまとめてありました。ありがとうございました。

・ 記録者でした

様々な連携があげられますが、早期からの支援体制の必要性は共通した課題であると感じます。
大変んきょうになりました。ありがとうございました。

幼保小中と関係機関とのスムーズな連携の提案ありがとうございました。おそらく、どこの地域でも行われているとは思いますが、形式的にならないように気をつけています。高山市では、大変効果的に行われていることが素晴らしいと感じました。